



公明党
三上 裕久

地方創生総合戦略策定について

質問 滝川版総合戦略の策定に当たって、市長が考える本市の5年先、10年先の未来を見据えた思いを伺う。

答弁 本市の地域資源や特性を踏まえ、信念と不断の努力で20年先、30年先を見据え、安定した雇用の創出、人の流れを引き込む、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることで、時代に合った地域をつくっていきます。

質問 総合戦略策定に当たって、各階層の一般市民がテーマごとにグループ分けされた中で、一定期間討議しながら組み立てることを望むが、市長の見解を伺う。

答弁 将来を担う若者や子育て中の母親、各種団体の皆さんのご意見を伺う場を市内各所に設け、テーマを明確化し、可能な限り一定期間討議を行えるよう工夫していきます。

質問 幅広く市民の意見を取り入

れた総合戦略を策定することで、市民が主体的に未来へのまちづくりに関わっていく機運を醸成することが重要であると考えてるが、市長の見解を伺う。

答弁 多くの市民の皆さんにかかわっていただき、総合戦略の基本目標などを共有することで、みずからの参加者意識が高まることを期待します。策定段階から、市民の皆さんの意見を取り入れる機会をできる限りつくっていききたいと考えています。

産業の振興について

質問 これまで行っている情報収集活動や企業訪問活動で、新たな企業誘致や雇用の確保ができると考えているのか伺う。

答弁 これまでと同様に、他の自治体の取り組みを参考にするなど、業界の情報を得ながら、訪問活動を継続し、新たな雇用の確保のために誘致を実現していきます。

広域観光の考えについて

質問 広域観光を視野に、インバウンド（訪日外国人）観光への体制整備を図るべきと考えるが、市

長の見解を伺う。

答弁 今年の菜の花ウィークには880名以上の外国人が訪れており、対応に複数の課題が見えてきました。これらの課題を整理しながら、環境整備に努めていきます。

認知症サポーター養成講座について

質問 認知症の方が増加傾向の中、認知症の方およびその家族を支援する「認知症サポーター」の養成をどのように進めていくのか伺う。

答弁 これまでも「認知症サポーター」養成講座を年10回程度開催していますが、今後は、総人口に占める割合を全国、全道の平均値の4%を目標に掲げ、各種団体へPRを図り、充実した講座にしていきたいと考えています。

子育て環境の整備について

質問 若い母親から要望の多い、0歳から就学前の子どもが、季節や天候に左右されず、体を使った遊びができる屋内遊技場を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 現状、新たな施設を造ることは困難ですが、花月地区児童セ

ンターで実施していることも広場事業を利用していただけるよう、PRに努めたいと考えています。

効率的な行政運営について

質問 電力の自由化で全国的に新電力に切り替える自治体が増えていく。本市の公共施設の電気料金を削減するために、可能な限り切り替えるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁 今年度から運用に向け入札の準備を進めています。新電力に切り替えることでメリットがあると判断される施設から検討していきます。

新教育委員会制度について

質問 原則公開の総合教育会議には、市長も参加して重大課題を論じられると思いますが、市民の負託を受けた市長の思いを伺う。

答弁 市長と教育委員会が相互に連携し、市長が教育行政に大きな役割を担うことを重く受け止め、地域における教育の課題やあるべき姿を共有することに努め、市民の皆さんの期待にこたえていきたいと考えています。